

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「地域を愛し、地域社会の発展と活性化に貢献できる人材を育成する学校」                  ・人格の完成を目指し、心豊かでたくましく生きる力の育成を図り、農業に関する将来のスペシャリストを育成します。                  ・実験・実習等やICT活用による体験学習を重視し、「まちじゅうが教室」の方針で地域の資源や教育力を取り入れた教育活動を行い、地域の将来を担う人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>○農業の専門的な知識や技術を身に付け自ら計画的に活用する力                  ○学んだ知識や技術を活かしてグローバルな視点で地域に貢献する力                  ○「ワンヘルス」の理念を理解し環境保護や人と動物との共生に意欲的に取り組む力                  ○地域の農や食、自然環境に関する諸課題の解決に貢献できる力</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>○スマート農業のメリット活かした実験・実習を取り入れ、課題解決型学習(プロジェクト学習等)を重視した系統的な教育の実施                  ○地域の農家と技術交流や地域農業の課題探求活動を通じた探究的な学習の展開                  ○学校設定科目「八女茶業学」「ワンヘルス学」をはじめ本校ならではの教育による地域連携                  ○少人数クラスによる「学び直し」「進学対策」の徹底                  ○地域と連携し、「食」「命」「環境」をテーマにした様々な教育活動</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>○人・自然・食に興味があり、好奇心旺盛な人                  ○農業自営や地域産業の発展に貢献することに情熱を持っている人                  ○農業や生物資源等の4年制大学、農業研修機関へ進学を目指す人                  ○新しい課題に意欲的に取り組み、新しい自分を発見したい人</p>

学校運営計画(4月)

学校運営方針		学校運営計画(4月)			
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標		評価 (総合)
<p>【成果】感染対策を講じ様々な学校行事を再開できた。学習面ではICT環境が徐々に整うとともに指導方法の工夫により、個別最適な学びが可能となり各授業でICTを活用した授業改善が図られている。学校農業クラブ活動では、全国大会や九州大会へ出場し受賞することができた。学校行事では本校の歴史や先人の思いを学び、愛校心や自己有用感を育むことにつながった。研究協力校として2年目を迎えたワンヘルズ教育では、森林環境を学ぶ学習、動物の飼育環境を考える学習を中心とする分野において充実することができた。本校独自の特色ある教育活動が一層充実できる環境が整ったことにより、生徒の学習意欲向上につながり、6年連続進路決定100%を実現することができた。生徒募集では、定員割れ解消に向け広報活動や地域連携事業を充実したことにより、定員割れを解消した。</p> <p>【課題】コロナ禍の影響で生徒が主体的に活動する機会が激減し、主体性の育成に課題を残した。挨拶や生徒会活動、部活動など生徒の主体的な活動を正常化するため八女市と連携し、地域に開かれた学校づくりに注力する。加えて、更に魅力ある学校となるよう、カリキュラムの見直しを行い、教育内容を充実していく。</p>		<p>(1) 生徒の確かな学力の育成を図り、地域との交流を深める活動を通して農業に関する将来のスペシャリストとしての自覚と必要な専門知識・技術を習得させる。</p>	<p>① 学習目的の明確化と規律ある授業を展開し、日常の授業に対して熱心に取り組む態度を育成する。 ② 地域との交流活動を通して地域貢献の意識を育み、本校での『学び』を地域に還元する意識と意欲を育む。</p>		
		<p>(2) 生徒の学習状況の習熟程度に応じた個別やグループ別指導学習等の取組みを行い、「基礎・基本の徹底」を図る。</p>	<p>① 教科・科目全領域において基礎学力の定着に向け、授業の工夫改善を図り、きめ細かい指導を行う。 ② ICTを活用した授業等の工夫と活用を図り、生徒一人一人の学習能力の向上に努める。</p>		
		<p>(3) 自尊感情を高め、他人を思いやることのできる心豊かな人間形成に向けた取組を推進し、人権意識の高揚やいじめの撲滅を目指す。</p>	<p>① 挨拶等の礼儀作法の徹底、時間厳守や掃除の徹底、服装等、基本的生活習慣を確立する指導を全職員で取り組む。 ② 学校の教育活動全般を通じた人権教育を推進し、生徒一人一人を大切にする学校づくりに努める。 ③ 生徒支援相談・いじめ問題対策委員会を中心とした組織的な対応により、いじめの発生防止と支援を要する生徒の早期発見に努める。また、SCや訪問相談員、SSWの活用を図り、悩みを抱える生徒等への教育相談機能を活性化させる。 ④ 特別支援教育充実に向けた校内体制を活性化し、生徒の支援体制を整える。</p>		
		<p>(4) 学校の教育活動全般において、人として正しく判断し、行動できる生徒を育成する。</p>	<p>① 生徒会活動及び農業クラブ活動の活性化を図り、農業高校の特色を活かし実践力のある生徒を育成する。(生徒による運営、進行等活躍できる機会を増加する。) ② 部活動の活性化に向け入部率の向上を図り、併せて学校活性化を図る。</p>		
		<p>(5) 意欲ある入学志願者の確保のため、学校広報を強化し、入試方法の改善を行う。</p>	<p>① 各学科の学習内容を精選するとともに魅力ある学科の教育内容をHP、SNS等を駆使し発信する。 ② 中学校訪問を定期化するとともに出前授業、学校説明会(含 個別)を積極的に行う。 ③ 中学校や保護者へホームページ、広報誌を活かした広報活動を促進し、特色化選抜入試への理解を強化する。</p>		
		<p>(6) 「ワンヘルズ教育」を推進し、地域におけるワンヘルズ教育の拠点を目指す。</p>	<p>① ワンヘルズ教育に関する研究協力校としての経験と実績を踏まえ、教育内容の精選と系統化を行う。 ② ワンヘルズ教育の実践校として先進事例の紹介や交流活動を通じた啓発的取組や教材開発に取り組む。</p>		
評価項目	具体的目標	具体的方策		生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
教務部	学習意欲を高め、基礎学力の向上	各科目の学習目標や計画・観点別学習状況の評価を提示し、学習意欲の向上を図る。		授業アンケート 学校生活アンケート キャリアパスポート	
		特別活動、HRを通して、将来の目標や自己の在り方を確立させる。			
		教育支援学習会を実施して学習内容を深めさせ、確実に基礎学力を定着させる。			
	規律ある授業を実施し、学習環境を充実	教務規定や授業規律を徹底し、規律ある学習環境を整える。		授業アンケート 学校生活アンケート キャリアパスポート	
ノーチャイムを継続し、時間管理能力と自己教育力を身につけさせる。 他分掌と連携し、授業でICTを活用し、授業内容の理解度を深めさせる。					
農業高校の特色ある教育内容の工夫・充実と情報発信	学習指導要領をもとに、各学科・各教科に係る教育内容を充実させる。		学校訪問報告書		
	本校の将来ビジョンに基づき、学科の教育課程の検討する。				
	本校グランドデザインの達成や各学科の特色を積極的に情報発信する。				
図書課	生徒の図書館利用の促進を図り、知的好奇心を喚起する。	図書委員への指導を充実させ、校外行事への積極的な参加を促し、学校での活動に反映させる。		来館者アンケート	
		図書館独自のイベントを企画・立案・運営し、図書館に対する生徒の興味を喚起し、図書館利用者を増やす。			
		生徒の学習支援のために、蔵書の点検及び充実を図り、バスファインダーを各所に設置する。			

様式3

生徒指導部	生徒指導課	高い規範意識を持つ生徒の育成	年間7回の規範意識育成学習会を実施し、生徒のマナーアップや自己指導能力の向上を図る。 委員会活動を中心に挨拶運動を行い、明るく大きな声で挨拶できる生徒の育成を目指す。 「学校生活アンケート」を月1回、「いじめアンケート」を学期1回実施することで、自分自身や他者との関わり方を見つめ直す機会をつくる。	規範意識育成学習会保護者アンケート 学校生活アンケート いじめアンケート いじめに関する家庭チェック表		
		人間関係形成能力や自己肯定感を高める学校行事の工夫や生徒会活動の活性化	歓迎行事を見直し、3学年の生徒を縦につなぎ、クラスの生徒を横につなぐ学年初めの人間関係づくりの機会を設定する。 生徒会活動に積極的に取り組み、学校行事を生徒主体で行う機会づくりに努める。 月1回の生徒支援相談・いじめ問題対策委員会を保健課やSC、訪問相談員と連携して開催し、生徒支援に生かす情報共有を行う。	行事アンケート 学校生活アンケート キャリアパスポート		
		組織的な生徒指導体制の構築	毎月の「学校生活アンケート」をWebアンケートで実施し即時集計を行うことにより、迅速な生徒状況把握と情報共有を実現する。 「学校いじめ基本方針」や「生徒指導マニュアル」等について職員研修を実施し、全職員で生徒指導に取り組む体制を構築する。 「キャリアパスポート」を進路指導部と連携して全学年で実施し、年間5回のHRの時間を確保する。	学校生活アンケート キャリアパスポート		
	保健課	生徒の健康課題やニーズの把握	生徒の健康課題やニーズを把握し、個々の特性・発達段階に応じた継続的支援を工夫する。 生徒の健康と安全に対する意識の高揚を目指し、学校医・関係医療機関との連携や助言をもとに季節や行事に応じた指導を行う。 学年・他分掌・各種委員会と連携し、健康教育推進事業やSC・訪問相談員の効果的な活用に努める。	学校生活アンケート キャリアパスポート		
		安心・安全で快適な教育環境づくりへの取り組み	大掃除の計画等を通して、校内美化活動の活発化を進める。 薬剤師による教育環境の調査・点検・改善を行い、学習環境の整美を行う。 消毒液の補充・手洗い場の管理・換気等、日常における安全環境衛生管理を行う。	学校生活アンケート		
		委員会活動(保健委員会・美化委員会)の活性化	保健委員会による「保健だより」を発行し、健康に関する正しい情報を発信する。 美化委員会による行事等での美化活動を実施し、美しい学校づくりを目指す。 高等学校保健会筑後支部事務局の運営を通じ、生徒保健委員会の活性化を図る。	学校生活アンケート キャリアパスポート		
	進路指導部	進路指導課	生徒一人ひとりの希望進路を把握し、適切な進路指導を行う。	2者面談、3者面談をこまめに行うことにより、適性に合った進路選択を促す。 3学年担任との定期的な会議を実施し、情報共有を行う。 スタディサプリの利用を促進し、生徒の理解度やニーズに合った学びを提供する。	学校生活アンケート キャリアパスポート	
			就職指導を充実させ、内定率100%を目指す。	令和4・5年度に内定した企業との連携を深めるとともに、新規求人開拓にも努める。 志望理由を明確にさせ、面接練習を充実し、自信をもって試験に臨めるようにする。 農業後継者育成を推進する。(農業関係機関への進学も含む。)	進路希望調査 キャリアパスポート	
			進学指導を充実させ、進学者合格率100%を目指す。	チャレンジ委員会を充実させ、4年制大学、特に国公立進学希望者を増やす。 進路交流会、大学進学支援講座、その他進路行事を通して、進学先の情報提供を密に行う。 資格取得を推進する。(日本農業技術検定など)	進路希望調査 キャリアパスポート	
人権同和教育課		本校における教育活動の全領域において人権・同和教育を積極的に推進する。	人権・同和教育推進委員会の企画と運営を行う。 全職員が人権・同和教育授業に参加する。 時代の流れに乗ったあらゆる場面で、人権教育に取り組む。	進路希望調査 キャリアパスポート		
		本校における生徒の学習を保護し、積極的に生徒の学校生活を支援する。	生徒一人ひとりの実態を把握し、生徒と教師のつながりを強め、生徒を支援する。 保健課、生徒支援相談・いじめ問題対策委員会等との連携を密にして、生徒の問題解決に当たる。 各種奨学金の案内、手続き等を行う。	学校生活アンケート		
		教員の協力のもと、昨年度の運営を踏まえ八女地区高校および県立学校人権教育推進協議会(合推)の支援を行う。	地区合推の定例学習会に参加する。 地区合推の研修会・総会などの支援を行う。 外部諸機関との連携と調整を行う。	研修会等参加者アンケート		

様式3

研修情報部	研修課	職員研修全体の企画・立案及び円滑な運営を図る	学校の教育課題とその解決策や職員のニーズに対応した研修を企画・実施する。 ITC機器の活用法を紹介したり、効果的な指導ができるような研修会を実施し、職員へのサポートを行う。 研究授業を推奨し、年に2回の授業アンケートを実施することで、個々の授業改善を図る。	各種研修申込み希望調査		
		教員の指導力向上及び若年教員の育成に繋がる研修を各教科・各学科・各分掌と連携して実施する	教員がOJT、OFF-JT、メンター制等を活用できるようサポートし、学校全体が協力して総合的に研修を推進していく。 若年教員研修がスムーズに実施できるよう、校内だけではなく関連機関との連携や報告文書の送付を遺漏なく行う。 初任者の指導力育成及び向上に繋がるよう、指導教員や教科指導員との連携と研修の計画、実施を行う。	初任者研修実施計画・報告書 3年目研修実施計画・報告書		
			ICTを活用した情報教育の推進及びICT活用指導力の向上を図る	電子黒板やタブレット端末の更なる活用の推進を図り、授業や非常時等に適切に対応できるように活用能力の向上や指導力の向上を目指して、研修会等を開催する。 ICT支援員と連携し、授業改善や研修会の充実を図る。	ICT活用能力調査	
	情報課	校内のPCやネットワーク管理及び校務支援システムの円滑な運用を図る	校内のPCやネットワークが円滑に運用されるように、日常のメンテナンスを心掛け、問題が発生した場合に迅速に対応できるようにする。 校務支援システムの円滑な運用を図るため、各部各課に校務支援システム担当者を定めてもらい、連携を深めていく。	運用実態調査		
		ホームページの管理・更新を定期的に行う	各部と連携しながら、ホームページの管理と更新を定期的に行う。	各種HP更新調査		
	企画広報部	企画庶務課	式典・行事等の企画、立案及び円滑な運営を図る	学校運営に関わる企画、庶務全般の運営を円滑に行う。 防火防災避難訓練の企画、立案及び円滑な運営を図る。 表彰に係わるデータの管理、表彰式の計画、表彰状の作成などを漏れなく行う。	PTA視察研修に関するアンケート	
保護者との連携を強化し、本校PTA活動及び高P連八女地区の円滑な運営を図る			PTA行事、互助会行事、親和会行事の参加を促し、成功させる。 PTA総会、PTA視察研修会の企画、立案及び円滑な運営を図る。	PTA理事に関するアンケート		
			PTA各種委員会活動(合同交通指導、PTA新聞発行、PTA校内バレーボール大会への支援を行う。			
広報課		広報課担当職務の企画・立案及び円滑な運営を図る	広報委員会と連携し、八女農だより発行等で本校の活動を発信していく。 各学科、各学年と連携を密にして行事や実習等の情報を収集し、地元メディアと連携し中学校や地域に発信していく。 各学科の販売実習等の活動を庶務・広報部に事前連絡してもらい、FM八女等で発信する。	PTA広報活動に関するアンケート		
			「凡事徹底」 ・時間厳守 ・挨拶の励行 ・規則の遵守	ノーチャイムでも時間を守れるように、担任・副担任及び学年で連携して指導を行う。 安易な欠席や遅刻をさせないように指導し、長期欠席に繋がらないように継続的な指導を行う。 挨拶をすることがコミュニケーションの基本であることを理解させ、継続的な指導を行う。	年間を通じた実態の様相観察	
				新たな進路の発見	高校卒業後の進路を間違えずに選択し、その道に進むための力を育成する。 ICT・タブレットの活用を図り、進路指導部と連携して進路に関する情報を提供する。 各種検定・資格取得に向けて指導を徹底する。	年間を通じた実態の様相観察ト キャリアパスポート
基本的な生活習慣の確立	校則や規範意識を高めさせ、自律できる生徒を育成する。 頭髪・服装および問題行動等については、学年団として積極的に指導を行う。 教室やロッカーをはじめ、身の回りの環境を整える。	年間を通じた実態の様相観察 学校生活アンケート				

様式3

2 学年	基本的生活習慣の確立	5分前行動を徹底し、時間を厳守する意識を身に付けさせる。	学校生活アンケート 年間を通じた実態の様相観察	
		安易に遅刻や欠席をすることないよう、学年全体で細やかな指導を行う。		
		頭髮・服装および問題行動等については、生徒指導部と連携し、学年全体で指導を行う。		
	希望進路の確立とその実現に向けた指導の充実	ICTを活用し、進路指導部と連携して進路に関する情報提供を行い、生徒の希望進路を明確にさせる。	キャリアパスポート	
		個人面談や三者面談を通じて、各生徒の希望進路に応じた働きかけを行う。		
		各種検定や資格取得に積極的に取り組むよう働きかけを行う。		
他者と協働し、互いに尊重し合える生徒の育成	身の回りの整理・整頓を徹底させ、誰もが過ごしやすい教室環境を整える。	学校生活アンケート		
	大きな声で気持ちの良い挨拶ができるように指導を徹底する。			
	学校行事の中で生徒が各自の役割を果たし、全体に貢献する意識を培わせる。			
3 学年	進路実現に向けた指導の充実	ICTの活用、進路指導部と連携して生徒に的確な情報を提供し、進路の明確化を図る。	年間を通じた実態の様相観察	
		進路指導部及び学科・各教科と連携して個人面談や三者面談を計画的に行い、進路実現に向け主体的に行動させる。		
		各種検定・資格取得に意欲的に取り組ませる。		
	最上級生として学校全体をリードする生徒の育成	生活面・学習面において1・2年生の模範となるよう、八女農生としての自覚と愛校心を培う。	学校生活アンケート キャリアパスポート	
		学校行事に際し、1・2年生を指導し協力して活動する意識と態度を育成する。		
		5分前行動、挨拶を励行し学校の基盤となるよう取り組ませる。		
基本的生活習慣及び規範意識の確立	進路決定後も生活習慣の乱れがないよう、無断欠席や遅刻者をなくす指導を継続する。皆勤者25人を目指す。	年間を通じた実態の様相観察		
	頭髮・服装および問題行動等については生徒指導部と協力し、学年団として徹底指導を図る。			
	教室の環境を整える。(持ち物の整理・整頓、ごみの分別、清掃の徹底)			
農 務 部	農業教育の充実と農業クラブ各種競技の組織的指導	実験・実習等やICT活用による体験学習を重視し、専門知識・技術を身に付けさせる。	授業アンケート 実績報告書	
		農業クラブ活動の活性化を図り、生徒による運営、進行等活躍できる機会の増加に取り組む。		
		プロジェクト発表、意見発表、農業鑑定競技等の指導を学科の枠を越えより組織的に行う。		
	農業教育の理解とイベントによる学校PR	地域におけるワンヘルス教育の拠点を目指したイベントの企画・運営活動に力を入れる。	授業アンケート ワンヘルス教育アンケート	
		インターンシップの受け入れ先の検討や事前指導・事後指導の徹底を図る。		
		地域交流活動や農業体験を年間を通して、日頃の学習成果を地域に還元できる能力を育む。		
農場の環境整備と備品の充実、ICTの導入	必要備品の購入と計画的な廃棄処分を行う。	実績報告書		
	授業に活かせる農場・実験室・実習室の整備を行う。			
	動植物の環境モニタリングを整備して農業DX化の推進を図る。			
生 産 技 術 科	教育内容の充実とワンヘルス教育の推進	実習においてICT機器を効果的に活用して、専門知識・技術の習得や思考・判断・表現力を育む。	授業アンケート	
		他学科と横断的な授業展開を図り、ワンヘルス教育の推進に努める。		
		生徒の興味・関心を把握し、教材の研究、授業展開を行う。		
	地域農業の発展・活性化に貢献できる将来のスペシャリストの育成	販売会や農業体験等の地域交流を積極的に行い、地域に開かれた学校づくりに努める。	授業アンケート 様相観察	
		意見発表やプロジェクト発表、各種競技など農業クラブ活動に主体的に取り組む。		
		社会人招聘授業や外部講師を活用して、地域文化に触れる機会を取り入れる。		
希望進路実現に向けた組織的指導	希望進路を把握し、一人一人に応じた面接指導を丁寧に行う。	進路決定状況 インターンシップ等の実績報告書		
	2年次から将来を見据えたインターンシップ先の選定を行い、企業や研究機関と連携して専門的な知識や技術を身に付けさせる。			
	基本的生活習慣の確立に向けて、生徒の課題を職員間で共有し指導を行う。			

様式3

システム園芸科	教育内容の充実、指導の工夫・改善を図る	学科の特色を生かし、農業生産物の充実と付加価値の高い農作物の生産を図る。 一年生に対して学科の内容を分かり易く説明し特色ある教育内容の充実を図る。 新たな栽培技術等に取り組み高度な知識や技術の習得を図る。	授業アンケート 実習日誌	
	基本的な生活習慣の確立並びに生徒理解に努める	毎時の授業において服装、頭髮、挨拶、言葉遣い及び時間厳守等の指導を行い、規律ある学校生活を送らせる。 実習時間等を活用し生徒一人ひとりの理解に努める。 生徒の情報を共有し進路実現に向けて個別指導を大切にする。	授業アンケート インターンシップ等実績報告書	
	学習意欲の向上を図る	課題解決学習を積極的に取り組み、学習意欲の向上を図ると共に自主性を身につけさせ、生徒の探究心を引き出させる。 資格取得のための指導を強化し合格率の向上と上級の資格取得を目指させスキルアップを図り、進路実現に繋げる。 栽培物の担当を決め、責任感と共に学習意欲の向上を図る。	課題研究日誌 実習日誌 進路決定状況	
動物ペット科	学科の特色を活かした農業教育の実践と主体的な学習態度の育成	学科の特色や科訓「敬天愛動」の精神を理解させ、人にも動物にも愛される人材を育成する。 見方・考え方を働かせた実践的・体験的な学習活動を通して、社会を支え産業の担う職業人として必要な資質・能力を育成する。 ワンヘルスの研究協力校として、人や動物の健康、環境保全について常に考えられる人材を育成する。	授業アンケート 実習日誌 様相観察 ワンヘルス教育アンケート	
	学科の取組を地域にアピールし、地域に開かれた農場作りの推進	保育園や小中学校との動物ふれあい交流活動や出前授業・開放講座等を実施する。 学習活動を学校HP等にてパネルを活用しながら積極的に発信し、動物ペット科の学習内容を地域にアピールする。 地域での祭り(道の駅等)や地域行事への参加等による地域との繋がりを強める。	実習日誌 様相観察 ワンヘルス教育アンケート インターンシップ等の実績報告書	
	進路開拓と進路指導の充実	進路指導部と連携し、新たな進路開拓(企業・上級学校等)の充実を図る。 進路実現のために学年と連携し、面接や小論文等の指導の充実を図る。 規範意識の向上や元気のよい挨拶の徹底、基本的な生活習慣の徹底を行う。	進路決定状況 様相観察	
食品開発科	基本的な生活習慣・社会的マナーの確立	挨拶や正しい言葉遣い、高校生らしい服装や頭髮等、清潔感のある身だしなみについて、意味を考え自ら実践することのできる態度を身につけさせる。 授業開始・終了での指導を、共通理解を持って行う。 遅刻・欠席・早退の届け出の徹底し、事後指導について確実に行う。	年間を通じた実態の様相観察	
	「食」に関するスペシャリストとして知識・技術を取得させる。	「食品製造」「食育」の専門性の知識の習得を図る授業を展開する。八女農ブランドの積極的な開発と資格取得の推進。 生徒の希望に合う外部講師やインターンシップ先の開拓を行い、進路実現につなげる。 進路指導との連携を図り、生徒の希望や特性を把握し、学科職員の共通理解の基、進路指導を行う。	年間を通じた実態の様相観察 インターンシップ等の実績報告書	
	地域との交流活動を通して、あらゆる場を学習活動の場とする。	地域連携・外部講師による事業を積極的に導入し、授業を充実させる。 各行事において規律や団結を学び、リーダーの育成と生徒間の協調・連携を深める。 プロジェクト学習の発表会を各学年で行い、科学的思考力や問題解決能力・コミュニケーション能力を育成する。	年間を通じた実態の様相観察	
事務部	電話対応・接客接遇の向上	電話やお客様対応をとおして、相手の立場に立った「丁寧でさわやかな接遇」に努める。	監査等	
	老朽化が進む建物の安全管理	定期的な校内巡視を行い「必要に応じて予算要求」を行ったりしながら施設の補強や修理を行う。 職員に対して、機会あるごとに学校全体の安全意識の醸成を図る。		
	効果的予算執行	「地域や保護者、PTA・同窓会等から信頼されるような学校作り」をする。本校の教育活動に対する理解と協力を求め、教育活動充実のための予算確保に努める。 職員に対して節電・節水を始めとする経費節減を呼び掛け、節約した予算に必要な予算措置をする。広報活動の予算確保をしたい。		